

# 学校だより

横浜市情報ネットワーク（ＹＹネット）上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tookaichiba/>

横浜市立十日市場小学校

令和5年11月30日（木）

緑区十日市場町 1392 番地-1

電話 : 981-0420

FAX : 983-1694

## 学んだことを活かして ～算数が役に立ったよ～

校長 平田 あや

街路樹の木々も葉を落とし、ゆく秋の気配に寂しさを感じる季節になりました。気が付けば早いもので、もう12月を迎えようとしています。11月は様々な学年が、遠足などの校外学習や他校との交流を行いました。校外学習に出かけると、教室で座学に取り組む場面とはまた違った子どもたちの様子を見ることができます。先日の1年生「こどもの杜遠足」で素敵な場面を見つけたので紹介します。

ホール内の輪投げコーナーでの子どもたちの様子です。輪投げのこつをつかんだ子どもたちは、たくさん輪が入るので大いに盛り上がっていました。ところが、輪が3個も4個も入るようになると、今度は合計点を出すのに一苦勞。しかも、場所によって点数が異なるので必死です。「俺は3点到3回入って、2点も1回入ったから…??」「 $3+3+3$ じゃないの。」「そっか、たし算をすればいいんだ。」「 $3+3$ は6だから、6に3足して9。9に2足すと…?」「11だよ。」一人の子の合計点も皆で協力して計算し、見事合計点を出せたときは、満面の笑みが見られました。私が、「算数って大事だね。役に立ったね。」と声をかけると、「うん。」と大きくうなずいていました。

その後、輪投げコーナーには、人が集まり人数が増えていきました。そんな中、輪を配っている途中で、新規メンバーが入ってきた場面がありました。元々のメンバー4人には輪を3個ずつ配り済みです。全部回収して配り直すのかな…と思って見ていましたが、配り役の子は、輪を回収しません。自分の手元にある8個の輪と、一緒に遊ぶメンバーの顔を一人ずつじっと見つめ、頭の中で一生懸命計算したのでしょう。「初めから配り直そうよ。」と言われても、「大丈夫。足りるから。」と言って、まず新加入の子に3個渡しました。そして残り5個を1個ずつ配り、5人全員が丁度4個ずつでゲームスタート。見事な解決でした。

本校では、今年度「思い・願い・考えを表現し、ともに学ぶ子」というテーマを掲げて、教職員全員で、算数科を切り口として重点研究に取り組んでいます。一人ひとりの子どもたちが、主体的に学習に取り組む姿を目指し、算数の学習を「日常生活と関連させる」という視点を大切にしています。学習した内容を日常生活の事象に結び付けたり、日常生活から算数の問題を見い出したりすることによって、算数の意味を深く理解し、その学習の有用性を実感できるようにしているのです。教室で学んだ算数を使って、輪投げゲームの勝負を楽しんだ子どもたち。我々が目指している「学習と実生活の関連」が垣間見えた場面でした。

これからの社会は加速度を増しながら変化し、複雑で予測困難な時代が来るといわれています。一人ひとりが未来の担い手となれるよう、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動する資質・能力の育成を目指し、日々の授業改善に取り組んでいきます。そして、学校で学んだことが、子どもたちの「生きる力」につながっていくことを願っております。